

## 令和5年6月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

### 白川 鮎美 議員

◇離島留学制度について

①「これからの離島留学検討委員会」の役割、進捗、計画について

- ・県教育委員会が4月20日に「これからの離島留学検討委員会」を設置したが、その役割と進捗状況、今後の予定は。

(教育長答弁)

壱岐高校の離島留学生在が亡くなられたことをしっかりと受け止め、今回、現行制度を総括的に検証し、生徒の皆さんが安心して生活を送れるとともに、制度が持続可能なものになるよう、今回、検討委員会を開催したところであります。

現在、対馬市、壱岐市、五島市の各検討部会において、離島留学生やその保護者等を対象にしたアンケート調査の結果などをもとに協議を行っており、今後、検討委員会において、8月末を目途に今回の事案の検証結果と制度の改善策のとりまとめを行う予定としております。

②離島留学に関するアンケート調査の結果について

- ・離島留学生などの当事者が感じる課題を抽出するために実施したアンケート結果の内容をどのように捉えているのか。

(教育長答弁)

アンケート結果をみると、各校の教育内容については概ね高い評価を受けていることや、本制度が教員や里親の方々による細やかな配慮や献身的なサポートの上に運用されている実態について改めて認識いたしました。

一方で、食事や住居環境、相談体制などの面で様々な課題が寄せられており、今後、制度の改善や充実に向けて取り組んでいく必要性を強く実感したところです。

③県が配置している留学支援員の役割について

- ・離島留学を実施している対馬市、壱岐市、五島市のそれぞれに離島留学支援員を配置している。支援員は留学生の学校外の生活をサポートする役割として生徒の立場に立って学校・里親・実親との連携を担うべきであるが、現状として十分に対応できているのか。支援員の要件と役割について伺いたい。

(教育長答弁)

離島留学支援員については、資格要件は特にありませんが、生徒との面談や里親宅の訪問だけでなく、地域との連携や広報活動など幅広い業務を担っていただいている

ところであります。

今回の検討部会では「支援員にもっと生徒や里親に寄り添う時間を与えることが重要である」とか、「生徒のSOSをキャッチするためには、専門家なども交えた体制の構築が必要である」とのご意見もいただいております、こうした点も踏まえながら、今後、支援員の業務の見直しや分厚い支援体制の構築について検討してまいりたいと考えております。

#### ④里親制度の在り方について

- ・里親のアンケート結果では、留学生の対応に戸惑うことや、学校や保護者との連携不足などを指摘する声もあることから、里親が安心して子どもを受け入れることができる環境整備が必要である。また、児童福祉法上の里親とは異なる点なども含めて里親制度の在り方を見直す必要があるのではないかと考えています。

(教育長答弁)

本来、離島留学制度における里親は、実親に代わって養育する児童福祉法上の里親とは異なることから、担うべき役割や支援体制、或いは「里親」という呼び方も含めて、検討委員会の中で幅広く議論していただくこととしております。

#### ⑤転校・退学者の現状とその対策について

- ・「これからの離島留学検討委員会」第1回の会議の中で、離島留学生の状況として転退学者数を報告していたが、離島留学生の2割以上の生徒が転退学する状況についてどのように捉えて、今後、どのような対策を検討していくのか。

(教育長答弁)

様々な事情を抱えながら親元を離れ、新しい環境の下で高校生活をスタートさせたにも関わらず、学校内で集団に適応することが難しくなったなどの理由により転退学する生徒がいることから、カウンセリングなど、支援体制の一層の強化が重要であると考えています。

一方で、本制度は、各校の特色に応じて、高い目的意識と意欲を持った生徒が入学してくることを前提としているため、生徒と保護者が離島留学の趣旨や、親元を離れて生活することの大変さなども事前に十分理解したうえで入学していただけるよう、今後、体験入学時の個別の進学相談を充実させてまいります。

#### ⑥知事に今回の杵岐事案と今後の離島留学制度に対する見解を伺いたい。

(知事答弁)

前途ある若者の尊い命が失われたことを大変重く受け止めており、その背景に何があったのかを検証するとともに、改めて離島留学制度の運営上の課題について、現行制度を総括的に検証する必要があると思います。

本県のしまには特有の豊かな自然や歴史・文化、そして、人の温かさがあふれており、離島留学生には、そのような環境の中で安心して充実した学校生活を送ってほしいと考えております。

そのためには学校や里親だけでなく、保護者や地域を巻き込みながら、留学生を見守る体制を整備し、より魅力的で持続可能な制度となるよう改善を図っていく必要があると考えております。